Alicekan

ゆきの　あさです。
いえを　でると、
「よーし、いくよ」と　おねえちゃんが　いいました。
みちるは　おねえちゃんと　いっしょに、
がっこうへ　いきます。

Alicekan

ゆきが　ピューピュー　ふきつけてきます。
みちるは、うまく　まえに　すすめません。
すると、まえを　あるいている　おねえちゃんが　いいました。

「みちる、こうやって
おばあさん　みたいに　こしを　まげて　あるくと、あるきやすいよ」
おねえちゃんは、あるきながら　みちるに　こえを　かけます。
「いち・に　おばあさん！　いち・に　おじいさん！」

みちるは　おねえちゃんの　まねをして　あるきました。
おねえちゃんと　かわりばんこに　いいます。

「いち・に
けむし」

「いち・に
いもむし」

「いち・に
ねずみ」

「いち・に
もぐら」

「いち・に
うさぎ」

「いち・に
しろくま！」

え！？

Alicekan

きゅうに　しろくまが　あらわれたので、
みちるは　びっくりして　こえも　でません！
しかも　しろくまは、みちるが　はしって　にげようとすると、

あまり
じょうずじゃない
でんぐりがえしを
したり、

こちょこちょ　くすぐってきたりして、
じゃまをするのです。
あんまり　しつこいので――

みちるは、ついに「やめてよね！」と　キックして、
しろくまが　くよくよしているすきに　はしりだしました。
しろくまに　きをとられているあいだに、
おねえちゃんと　はぐれてしまったのです。

Alicekan